

## 米販売動向調査（令和2年1月分）結果とりまとめ

1. 調査期間 令和2年1月20日（月）～2月10日（月）
2. 回答数 60組合員
3. 調査結果概要

### Q1：昨年1月と比べた令和2年1月（1か月）の米販売量

「減った」との回答が約3割を占めました。

### Q3：3か月前（令和元年10月）と比べた販売動向

「やや悪くなっている」「悪くなっている」の回答を合わせると約7割を占め、DI値は「27.9」。

### Q5：3か月先（令和2年4月頃）の見通し

「変わらない」との回答が約4割を占めたが、「やや良くなる」との回答が「やや悪くなる」との回答を上回り、DI値は「52.9」。

## 4. 集計結果

### Q1：昨年1月と比べた令和2年1月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
60	5	8	10	16	21
100.0%	8.3%	13.3%	16.7%	26.7%	35.0%

### Q3：3か月前（元年10月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
60	1	8	10	19	22
100.0%	1.7%	13.3%	16.7%	31.7%	36.7%

DI値  
**27.9**

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
35.7	35.2	21.0

### Q5：3か月先（2年4月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
60	0	21	26	12	1
100.0%	0.0%	35.0%	43.3%	20.0%	1.7%

DI値  
**52.9**

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
60.7	55.7	49.2

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満  
 規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

#### Q1：現在（2年1月）の米販売量（前年同月との比較）

1. 人口減の影響もあるが、米価上昇による米離れを感じる。
2. 暖冬等の影響でレジャー客・観光客が減少していることが販売に影響している。
3. 中食は一時の勢いではないが、堅調に推移している。

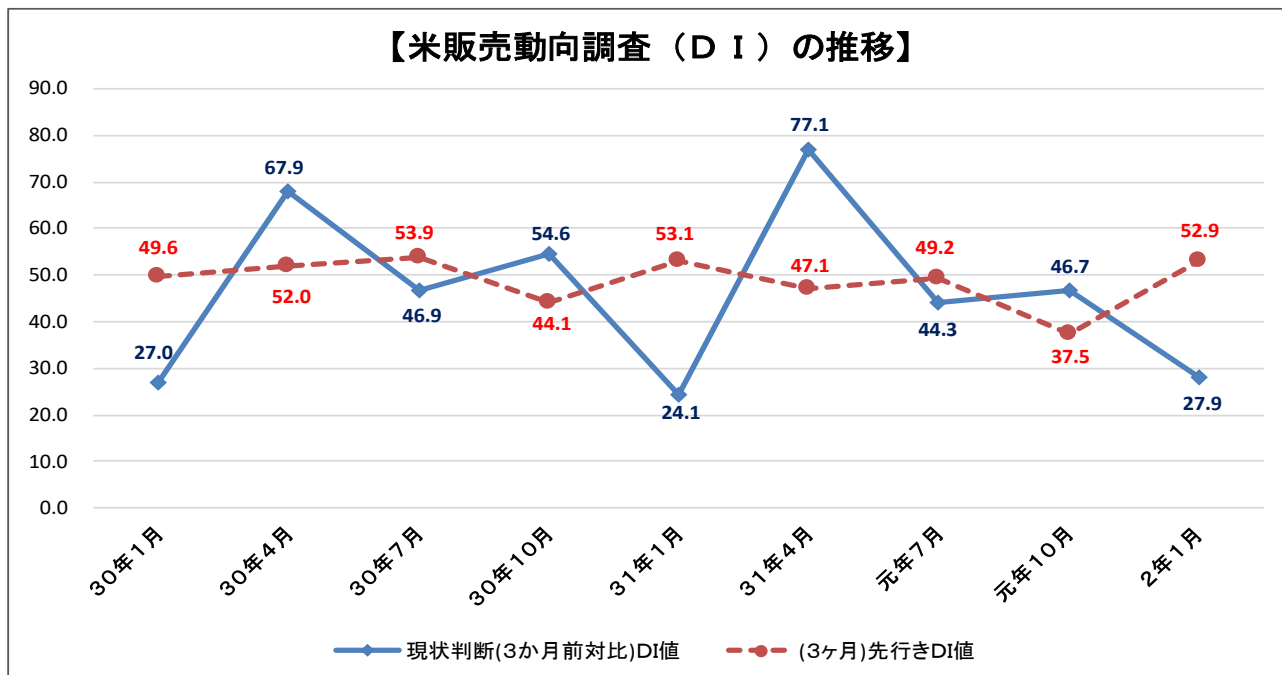
#### Q3：過去（3か月前）と現在の動き

1. ディスカウント店の売れ行きは良いが、量販店は減少している。
2. 新米以降、消費者の購入が減っている。価格が販売に影響するので値上げできない。
3. 食の多様化に加え、生産者直取引やネット販売等の商流が増え、従来の米流通に変化が出ている。
4. 外食は増税前の数字に戻るのが厳しい状況にある。

#### Q5：将来（3か月後）の動き

1. 業務用米は、五輪開催前からのインバウンド需要に期待。一方、新型コロナウイルスによる影響も考えられる。
2. 自県産の手当てが不足、玄米販売を制限しているが、今後の精米販売動向によって、玄米販売を増やすことも想定される。
3. 令和2年産の作付面積や備蓄米の買入状況によっては、より値下げ交渉が厳しくなり、取引がまとまらないことが考えられる。

## 【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年1月と比べた令和2年1月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	12.5	2.5	40.0	20.0	25.0
中小スーパー	100%	7.3	10.9	30.9	27.3	23.6
米穀専門店	100%	1.9	5.7	20.8	45.3	26.4
その他	100%	0.0	13.6	38.6	22.7	25.0
(外食産業向け)						
外食向け	100%	11.8	3.9	54.9	21.6	7.8
中食向け	100%	0.0	22.8	54.4	12.3	10.5
給食向け	100%	0.0	5.5	76.4	14.5	3.6

Q4：3か月前(令和元年10月)と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.5	10.0	42.5	22.5	22.5	36.9
中小スーパー	100%	0.0	12.7	29.1	38.2	20.0	33.6
米穀専門店	100%	0.0	5.6	25.9	40.7	27.8	27.3
その他	100%	0.0	4.4	42.2	28.9	24.4	31.7
(外食産業向け)							
外食向け	100%	2.0	9.8	49.0	29.4	9.8	41.2
中食向け	100%	0.0	12.3	61.4	19.3	7.0	44.7
給食向け	100%	0.0	3.6	72.7	14.5	9.1	42.7

Q6：3か月先(令和2年4月頃)の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	22.5	57.5	17.5	2.5	50.0
中小スーパー	100%	0.0	20.0	54.5	21.8	3.6	47.7
米穀専門店	100%	0.0	9.3	44.4	33.3	13.0	37.5
その他	100%	0.0	19.1	51.1	19.1	10.6	44.7
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	17.3	63.5	15.4	3.8	48.6
中食向け	100%	0.0	21.1	61.4	14.0	3.5	50.0
給食向け	100%	0.0	9.1	81.8	7.3	1.8	49.5

\*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				